

しずく

No.
124
2023.1

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だより



特集 町の未来を拓く企業誘致

- 今号の主な内容
- 特集町の未来を拓く企業誘致②
12月定例会…6
 - 町政を問う
 - 一般質問 10議員が質問…8
 - 委員会レポート…16
 - ふるさとへの便り(90)…19
 - 今号の表紙／なかよしシリーズ⑩
 - 「わたしたち3きょうだい」…20

令和4年操業



菊の司酒造(株)

- ・業 種 酒類製造業
- ・従業員数 15名

1772年紫波町にて酒造開始、その後盛岡市に移転し、2022年雫石町へ本社・工場移転。清酒「菊の司」「七福神」等を製造。



盛岡セイコー工業(株)

- ・業 種 精密機械器具
- ・従業員数 674名

1970年10月操業。以来、雫石で腕時計及び同部品を製造。2004年雫石高級時計工房、2020年グランドセイコースタジオ 雫石を設立。セイコーウオッチ株式会社の生産拠点として世界的にもトップクラスの製品を提供。

特集 町の未来を拓く 企業誘致

町では人口減少・少子高齢化が進行しており、労働力の減少や後継者不足の課題が挙げられます。それらを抑制するため雇用の場を確保し、就業環境の充実や新たな雇用の創出を進める必要があります。令和4年2月に雫石町企業立地推進ビジョンを定め、4月には旧上長山小学校跡地に菊の司酒造を誘致しました。そこで、これまで町に貢献してきた誘致企業についてまとめました。

企業誘致で期待される効果

○雇用の確保

町内に新たな就業の場が生まれることにより、多様な雇用機会が拡大され、雇用の創出が期待される。

○町の活性化、賑わいづくり

企業と連携した特産品の開発やイベント事業などにより、町の活性化や賑わいづくりに繋がる。

○地域経済の活性化

新たな企業立地により既存企業へ様々なビジネスチャンスを生む可能性がある。また町内の従業員数が増加することにより、他事業者に好況をもたらす、地域経済の活性化に繋がる。

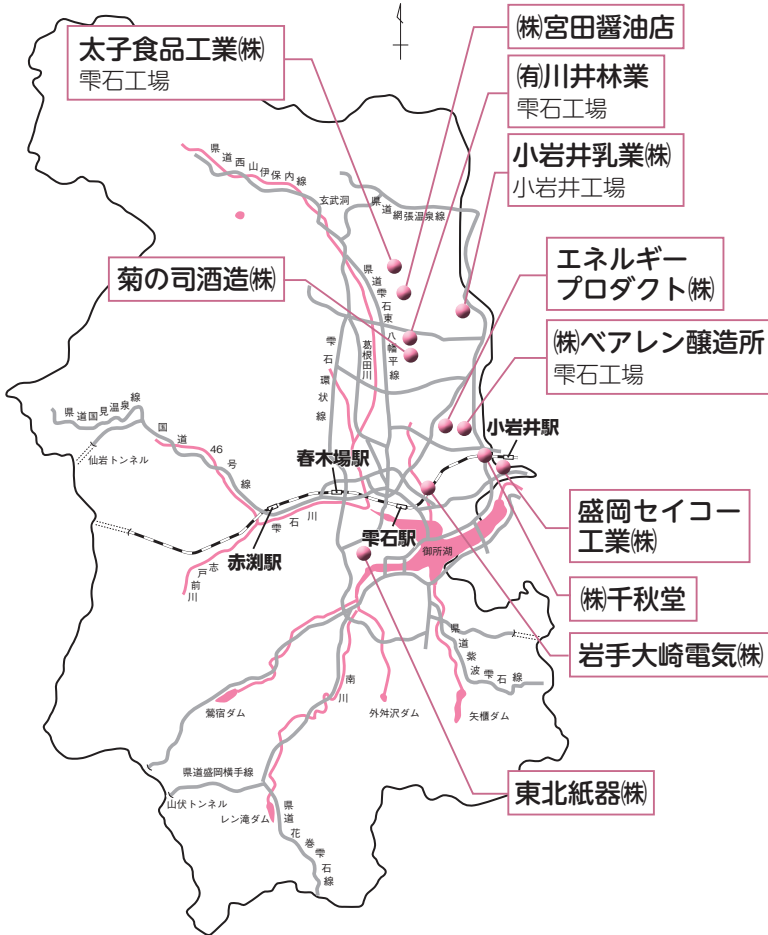
○定住人口の増加

新規雇用された方々が町内に転入することが予想され、定住化を促進する効果が期待される。

○町の財政安定化

法人町民税、固定資産税、企業に雇用される町民の個人町民税等、税収の

町内の誘致企業 (令和4年12月末現在)



- これまでの誘致企業
- 昭和46年 盛岡セイコー工業(株)
 - 昭和49年 岩手大崎電気(株)
 - 昭和50年 東北紙器(株)
 - 昭和51年 小岩井乳業(株)
 - 平成4年 太子食品工業(株)
 - 平成9年 株宮田醤油店
 - 平成20年 有川井林業
 - 平成28年 株千秋堂
 - 令和元年 株ベアレン醸造所
 - 令和元年 エネルギープロダクト(株)
 - 令和4年 菊の司酒造(株)

雇用の場や就業機会を創出することで定住人口の維持拡大を図る

町の企業誘致のねらい



岩手大崎電気(株)

- ・業種 電気機械器具製造業
- ・従業員数 65名

大崎電気工業(株)岩手工場として1974年設立、操業開始。2000年に分社し岩手大崎電気(株)に。スマートメーター部品、通信制御機器等を製造。



東北紙器(株)

- ・業種 パルプ、紙、紙加工品製造業
- ・従業員数 55名

1960年盛岡市にて設立、操業開始。1975年に粟石町へ工場を移転し、2016年本社移転。主に段ボールを製造。

増加など安定的かつ継続的に確保できると見込まれる。

企業誘致に係る法整備

○工場等設置奨励金

(粟石町工場等設置奨励条例 平成17年3月23日条例第17号)

町内に工場等を新増設する企業に対し、固定資産税相当額を奨励金として交付するもの。

【要件】

対象業種	新設	増設
製造業、卸売業、道路貨物運送業	2000万円以上	3人以上
雇用要件	5人以上	3人以上
奨励内容	固定資産税相当額を交付	3年間
期間	3年間	2年間

○企業立地促進奨励事業費補助金

(粟石町企業立地促進奨励事業費補助金交付要綱 令和4年3月16日告示第41号) 町内に工場等を新設する企業に対し、補助金を交付するもの。

【要件】

対象業種	製造業、ソフトウェア業、自然科学研究所
固定資産投資額	1億円以上
雇用要件	5人以上
補助金額	最大1億円 (1/10補助) 最大3億円 (1/10補助)



太子食品工業(株)

- ・業 種 食料品製造業
- ・従業員数 63名

1940年青森県南部町にて創業、1992年雫石工場操業開始。もやしを製造。



小岩井乳業(株)

- ・業 種 食料品製造業
- ・従業員数 85名

1891年創業の小岩井農場が行っていた乳事業を分離し、1976年に設立。1978年小岩井工場完成。牛乳、バター等製造。



(有)川井林業

- ・業 種 木材・木製品製造業
- ・従業員数 32名

1960年旧川井村にて創業、日本最大規模の製材工場として2008年雫石工場操業開始。集成材などの原料となるラミナ(薄板)を製造。



(株)宮田醤油店

- ・業 種 食料品製造業
- ・従業員数 14名

1904年盛岡市にて創業、1997年雫石町に営業本部及び工場を移転。醤油やめんつゆ等製造のほか、他社PB(プライベートブランド)商品の製造委託も行っている。



(株)ベアレン醸造所

- ・業 種 酒類製造業
- ・従業員数 7名

2001年盛岡市にて創業、2019年雫石工場操業開始。地ビールの製造・販売を行っており、雫石工場では缶ビールを製造。



せんしゅうどう (株)千秋堂

- ・業 種 食料品製造業
- ・従業員数 39名

1930年盛岡市にて創業、2016年に雫石町へ本社・工場移転。ゆべしやバター餅など製造。

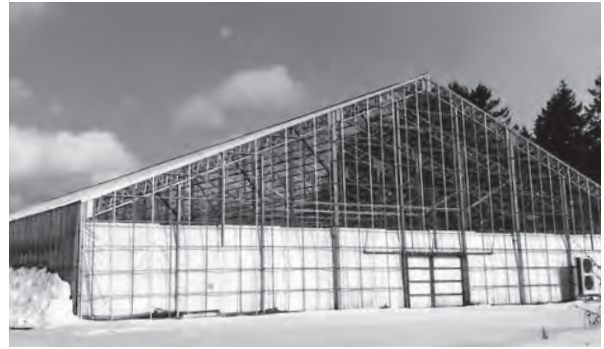
これからの企業誘致を
どうするか



人口減少は産業活動の停滞、事業の縮小や撤退を招くことが懸念されます。また生産人口の減少による税収減は、行政サービスの低下を招くことが危惧されます。

こうした町の大きな課題を打開するためにも、雫石町企業立地推進ビジョンに基づき、企業の進出を促し、雇用の場や就業機会を創出することで、定住人口の維持拡大を図っていく必要があります。

今後進められる企業誘致に期待するとともに、住民の声や環境への影響なども考慮された、雫石町の未来をともに担う企業の進出を期待します。



エネルギープロダクト(株)

- ・業 種 サービス業 他
- ・従業員数 3名

1991年東京都にて創業。主に電力、農業事業を行っている。2019年雫石事業所を開設。2022年より七ツ森地域交流センターの指定管理、町有地活用を請負っている。



まつざき つよし
松崎 剛さん (46歳)
行政区：上町一

- 高齢者世帯や共稼ぎの若い世帯が増えているので、食事などを自宅まで届けてくれるフードデリバリーサービス業(出前・宅配)が町内であれば便利だと思います。



ひやまか な
島山佳奈さん (39歳)
行政区：林

- 雫石町は手厚い子育て支援と自然も温泉もあって、盛岡市までは車で数十分の距離。町には移住に結びつく企業が来てくれれば言うことありません。そうすれば若者の雫石離れがなくなるのにな。



くまがい たく
熊谷 拓さん (46歳)
行政区：駅前

- 半導体製造工場がいいですね。水道、電気、自動車、電話、暖房機器、冷蔵庫など生活するうえで必要なものは、半導体がなければ動かないものばかりです。近い将来、私たちの身近な雫石で作る半導体が、日本中、世界中のたくさんの人たちに役に立っていることを想像するだけで楽しみです。



すぎ たけんせい
杉田兼晟さん (15歳)
行政区：黒沢川

- しずくいしディズニーランド、しずくいしディズニーシーとかになるような、大きなレジャー施設が来てくれると楽しいし、うれしい。人もたくさん来るし、夢がある。



くろさわ れな
黒沢怜奈さん (21歳)
行政区：駅前

- 雫石町ならここと言える学生や若者達が集まる新しいレジャー施設に来てほしい。託児所完備で安心して勤務できる場所で、将来的には休日に子どもを連れて遊べるところ。



かもんともき
嘉門智樹さん (30歳)
行政区：八区

- 雫石町の豊かな自然を活かし、その自然と触れあい、遊具などを設置し子どもと一緒に遊べる場、公園などを企画、運営している企業を誘致してもらいたいです。



とくだ えみこ
徳田栄美子さん (41歳)
行政区：元御所

- 雫石町では自然豊かな土地と清流があることを利点とし精密機械や半導体製造工場、薬品製造工場の誘致を期待します。また、酒蔵である菊の司ができたことから酒類メーカーが増えてほしいです。

—こんな企業を—

今回の特集を組むにあたり、町民の方々から「望む企業の業種」について生の声を聞きました。

● 改正個人情報保護法に対応・雫石町個人情報保護の保護に関する法律施行条例を制定

● 福祉的支援等・一般会計他6会計補正予算等を可決

● 県央ブロックごみ処理広域化・盛岡広域環境組合の設置を議決

令和4年12月定例会は、12月2日から12日までの11日間の会期で行われました。本定例会では、報告1件、条例の制定及び一部改正4件、補正予算8件、その他4件を審議しました。

一般質問は、10人の議員が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをたいただきました。

令和4年度補正予算（一般会計及び特別会計）

会計名	補正後予算額（補正予算額）
一般会計（第6号）	111億8,262万4千円 (2億2,317万4千円増)
一般会計（第7号）	112億1,063万6千円 (2,801万2千円増)
国民健康保険特別会計（第3号）	17億8,323万6千円 (2,226万5千円増)
簡易水道事業特別会計（第2号）	1,501万円 (13万5千円増)
介護保険事業勘定特別会計（第2号）	22億320万6千円 (9,980万8千円増)
雫石診療所特別会計（第3号）	3億9,764万円 (316万円増)
水道事業 ※収益的収入 特別会計（第2号）	4億3,537万1千円 (1,265万円減)
下水道事業 ※収益的収入 特別会計（第2号）	5億8,799万8千円 (470万2千円増)

主な補正予算

○福祉灯油等助成金の支給

951万3千円

生活困窮者等を対象に冬期間の負担軽減を図るために1世帯6千円の助成を実施することになりました。

○観光誘客促進としてのエンジョイパスポートの増刷

993万5千円

冬季間の観光誘客戦略としてエンジョイパスポートを3千部増刷することになりました。

○鶯宿温泉スポーツエリア
関連

2千392万2千円

こころが変わる

○開示請求手数料を規定・雫石町個人情報保護の保護に関する法律施行条例を制定

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、令和5年度から地方公共団体の個人情報保護制度は、個人情報の保護に関する法律が適用されます。また、定額の開示請求



全国が進む、ごみ処理施設の広域化

手数料を規定しました。

○課の統合・雫石町課設置条例の一部改正

行政組織のスリム化を図るため、令和5年4月1日から政策推進課と地域づくり推進課を統合し、「総合政策課」を新設します。

○ごみ処理の広域化・盛岡広域環境組合の設置について議決

盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町及び矢巾町は、関係市町の区域におけるごみ処理に関する事務を共同処理するため、盛岡広域環境組合を設置することになりました。ごみ処理施設(焼却施設)の整備は令和10年度(令和13年度の予定)としています。

主な質疑

Q (上野議員)アーチェリー屋内射場のオープンングセレモニー800万円、予算の内容は。

A オープニングセレモニーはアーチェリー屋内射場の完成を全国に広めるため、国際レベルの韓国選手団等を招待して開催予定です。

令和4年第7回雫石町議会 12月定例会 | 議決結果等一覧

会期：12月2日(金)～12月12日(月)

議案等番号	件名	島山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	古館 謙護	幅 秀哉	堂前 義信	横手 寿明	岩持 清美	杉澤 敏明	西田 征洋	大村 昭東	坂下 栄一	上野三四二	議決結果	
議案第5号	令和4年度雫石町一般会計補正予算(第6号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第6号	令和4年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	可決
議案第12号	盛岡広域環境組合の設置に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	可決
追加議案第15号	令和4年度雫石町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	可決
追加議案第16号	旧南畑小学校アーチェリー屋内射場整備工事の請負契約の変更に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。

★その他の議案については、全議員が賛成しました。



令和4年第6回臨時会

令和4年第6回臨時会が11月29日に招集され、条例2件、令和4年度一般会計補正予算(第5号)を含む補正予算6件について可決しました。

主な補正予算の内訳

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 1億円
いわて子育て世帯臨時特別支援金(増) 5,817万円

令和4年第6回雫石町議会臨時会 | 議決結果等一覧

会期：11月29日(火)

議案等番号	件名	島山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	古館 謙護	幅 秀哉	堂前 義信	横手 寿明	岩持 清美	杉澤 敏明	西田 征洋	大村 昭東	坂下 栄一	上野三四二	議決結果	
議案第3号	令和4年度雫石町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※加藤議長は採決には加わりません。

★その他の議案については、全議員が賛成しました。

ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う
10 議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

8
ページ

心に悩みを
抱えている方への対応は

質問者／^{すぎさわとしあき}杉澤敏明 議員



10
ページ

国民健康保険加入世帯の負担を
少なくしては

質問者／^{にしだまさひろ}西田征洋 議員



10
ページ

企業誘致と
若者定住に向けた施策は

質問者／^{とくだけきお}徳田幸男 議員



10
ページ

アーチェリー競技の
普及推進と振興策は

質問者／^{うわのみよじ}上野三四二 議員



Q 精神障がい者に対応した地域包括ケアシステムの現状は。

A 心に悩みを抱えている方が安心して生活を送ることを目的とした精神保健訪問業務を訪問看護ステーションへ委託している。心の悩みや精神疾患などが疑われる方に対する心の健康相談事業を精神科医師と協力し実施している。

町長 心の健康相談事業
で対応している

心に悩みを抱えてい
る方への対応は

質問者／^{すぎさわとしあき}杉澤敏明 議員

本町では、ひきこもり
本人と家族に対する支
援がもっと必要です。



12
ページ

子育て世代の養育環境 全般をどう把握するか

質問者／^{かね こ かず お}金子一男 議員



12
ページ

アーチェリー大会招致の構想は

質問者／^{はば ひで や}幅 秀哉 議員



12
ページ

いわて新農業人 チャレンジファームの状況は

質問者／^{おか もとただ み}岡本忠美 議員



14
ページ

2期目の町政運営の意気込みは

質問者／^{ふるだて けん ご}古舘謙護 議員



14
ページ

軽トラ市の過去最高の 来場者数の評価は

質問者／^{はたけやま みさお}畠山 操 議員



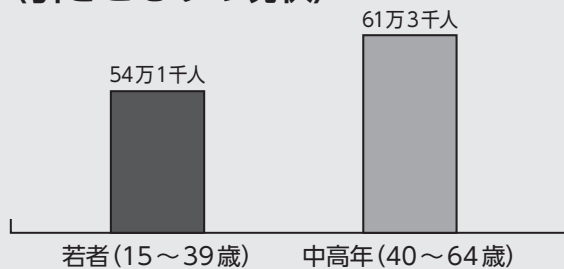
14
ページ

健康増進のため、食生活改善に 取り組むべきでは

質問者／^{おお むらしょうとう}大村昭東 議員



〈引きこもりの現状〉



出典：2018年の内閣府「引きこもり調査」

Q 精神障がい者やその家族に対する身近な相談員が必要では。

A 精神障害者家族会等関係者と相談員配置について協議し、家族相談員養成の状況も踏まえ配置に向け検討する。

Q 引きこもり本人と家族への支援はもつと必要と思うがどうか。

A 県の調査では町内には41名の引きこもりの方がいるとされている。厚生労働省による全国的な推計を勘案すると町内に60人前後はいると考える。該当者の把握に努め保健師による相談対応と、関係機関の相談窓口も案内し相談しやすい環境を整える。

コロナ禍で農家全体の損失額は10億円超か？
救済策を!!

質問者／西田征洋議員
にしだまことひろ



国民健康保険加入世帯の負担を少なくしては

町長 町独自の軽減措置を設ける予定はない

Q 税負担が大きい国保税の中で、子どもへの均等割、平等割を町が肩代わりし、少しでも国保加入世帯の負担を少なくしては。 **A** 令和4年4月に開催された衆議院厚生労働委員会において、「市町村が子育て世帯など特定の対象者にあらかじめ画一的な基準を設けて減免を行うことは、保険制度上は好ましいものだと考えていない」とも述べていることから、町が負担をするものではないと捉えており、軽減措置を設ける予定はない。

若者が働く場としての企業誘致の強化を。

質問者／徳田幸男議員
とくだゆきお



企業誘致と若者定住に向けた施策は

町長 企業立地を奨励・誘導する各種対策を講じながら取り組む

Q 企業誘致として町は、どのような企業が魅力的なものであるか。また、若者はどのような職種に興味を持っているかなど、調査する必要があると思うがどうか。



増設工事中の製材工場

高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的取り組みをしないとねえ…

質問者／上野三四一議員
うわのみよじ



アーチエリー競技の普及推進と振興策は

町長 町内外へ魅力を発信する

Q 鶯宿温泉スポーツエリアとして進めてきたアーチエリー屋内射場が竣工する。この施設は、町民が使用しその中から優れた選手が輩出され注目度を高め、結果としてスポーツ観光に結びつくものでなければならぬ。普及推進と振興策は。 **A** 町内小学校で、4年生以上の全児童を対象に授業の一環として体験教室を取り入れ普及活動を展開している。また、広報教育しずくいしでは、現役選手の町職員によるコラムを連載し情報の周知にも努めている。

学校給食の無償化を

Q 学校給食を町が全額補助して義務教育の無償化の助けになるよう努力しては。

A 「継続的な予算の確保」、「食材費の高騰」、「食育への関心の低下」などが課題として懸念される。現在の半額助成においても相当の経費となつてい

ることなどを踏まえ、全額補助する考えはない。

米価対策は

Q 令和3年分の損失額と町の支援は。

A あきたこまち1等のJA支払い概算金をもとに、令和2年産と令和3年産の町全体の生産額を比較すると、約4億4487万円減少したものと試算している。町の支援として令和3年度、「主食用米生産者緊急支援給付金」及び「主食用米生産者緊急支援追加給付金」それぞれ10アールあたり千円、821名の生産者に対し、合計で3698万5114円を交付した。



児童たちに大人気の「かみかみ給食」

A これまで調査したことはないが、人口減少対策の一つとして、企業訪問や産業界・経済界との情報交換など機会をとらえたセールスを積極的に行う。また、町では若者の雇用の場として、中高生向けに企業情報デジタルブックの作成を行い、町内企業を中心に職業紹介などを行い就職に対する意識醸成を図っていく。

アウトドア観光基盤整備は

Q 予想される多数の観光客の安全確保として、エリア内に防犯カメラの設置が必要ではないか。

A 観光客の入り込み状況等を注視しながら、防犯カメラの設置も含めた安全対策を検討する。

小中学生の不登校の現状と対策は

Q 不登校の現状と改善策をどう講じるか。

A 児童生徒の不登校の状況について令和4年10月末現在で30日以上欠席があったのは、小学校8名、中学校21名、計29名である。今後、学校や専門機関、地域と手を取り合い対策を講じていく。

る。

魅力発信として、PR動画を活用し各種大会や記録会で紹介するなど利用促進を図り、宿泊先となる鶯宿温泉の振興、スポーツ観光の振興にも繋がるように努める。



オリンピック輩出に期待

高齢者保健事業と介護対策は

Q 高齢者保健事業の見直しと介護保険事業制度の複雑化で、両事業の一体化した取り組みが求められる。本町の取り組み強化の考えはどうか。

A 来年度から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に取り組み予定である。

妊娠期から子どもの自立に至るまで漏れの無い相談と支援を。

質問者／金子一男議員



子育て世代の養育環境全般をどう把握するか

町長 必要に応じて家庭訪問や面談で実態の把握に努めている

Q 町子ども家庭支援拠点設置で、今後、子どもとその家庭等の養育環境全般をどう把握するのか。

A 対象となる子どもや家庭の状況は、関係機関や組織で情報共有し、必要に応じて家庭訪問や面談で実態の把握に努めている。

Q 子ども自身が利用しやすい情報提供方法の工夫は。

A 栗石子育て支援ガイドブックを各世帯に配布しているが、来年度国が創設す

アーチェリーと鶯宿温泉、観光推進のDMO。三つをうまく繋げなければ意味がないよ。

質問者／幅秀哉議員



アーチェリー大会招致の構想は

町長 全国大会規模の誘致に取り組む

Q 鶯宿温泉地域の活性化を進めるため、整備される屋内アーチェリー射場を会場とした大会招致の構想はあるか。

A 屋内アーチェリー射場を中心に、



全国大会規模の誘致が待たれる射場

教諭の仕事は大変だよ！早く文科省で改善して。

質問者／岡本忠美議員



いわて新農業人チャレンジファームの状況は

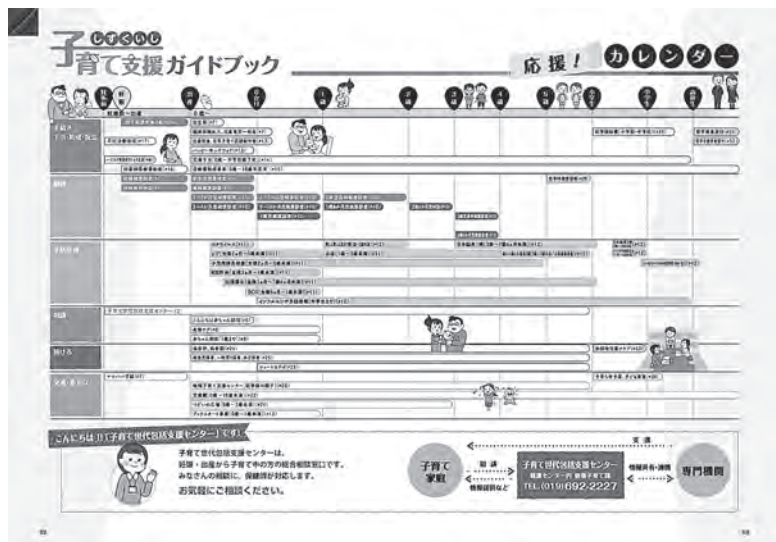
町長 県農業公社と連携し支援していく

Q 県農業公社が就農や定年帰農など農業に関わりたい方を支援する、いわて新農業人チャレンジファームの開講状況は。

A 南畑コテージむらで開催された研修では町内の若者が新規就農に結びついた例もあり、非常に有用であると捉えている。この研修が継続されるよう県農業公社と連携し、開催を支援していく。

Q 南畑コテージむらの活性化に向け、今後の取り組みは。

るこども家庭庁の理念に沿った、子ども自身が利用しやすい情報提供の仕方を再構築していく。



デジタルブックとしていつでも閲覧できるガイドブック

Q 一般子育て相談から、養育困難、虐待等の相談、妊娠期から子どももの自立にまで相談全般に応じる体制が必要では。

A こども家庭庁の発足に伴い、子ども家庭センターの設置が努力義務となり、現状の相談体制に加えさらに幅広く、きめ細やかな対応で支援体制を充実させていく。

町営陸上競技場や町営体育館なども活用し、平成28年に本町で開催した若手国体での実績も踏まえ、国内で行われている高校、大学を含む19の全国大会規模の大会誘致に取り組んでいく。また、屋内アーチェリー射場はバリアフリーの環境が整っているため、障がい者大会の開催も可能と考えている。

町有地活用は

Q 西山地区の町有地に工業団地を整備し、企業誘致を進め移住・定住を促進する考えはないか。

A 土地の立地条件や現状から困難である。まずは、民間事業者による民有地活用の奨励、誘導を中心に進めていく。

観光地域づくり法人の取り組みは

Q しずくしい観光協会を主体として事業を進めている観光地域づくり法人(DMO)の登録に向けた計画は進んでいるか。

A 令和4年3月に観光庁から候補DMOとして認定され、現在は3年以内の登録DMO昇格に向け取り組んでいる。登録申請にある自立的、継続的な活動による運営資金の確保に向け、町としても計画に係る活動内容及び進捗管理を徹底し、活動の支援をしていく。

A 県、県農業公社、町の3者において、南畑地区事業用地利活用検討会議を設置し、新たな計画の策定に向け、住民目線と政策目線の2つの視点から検討が進めるよう体制を強化する。



コテージむらで開催されたチャレンジファーム(公益社団法人若手県農業公社提供)

教育振興の取り組みは

Q 教職員の働き方改革は適切に行われているか。

A 町教育委員会では、働き方改革を進めるため、主催する各事業の見直しを行っている。さらに、教職員や児童生徒へのアンケート調査をタブレット端末などを活用し、効率的に行えるよう取り組んでいる。

11月26日開催の町民懇談会、多くのご参加ありがとうございました。



質問者／古館謙護 議員

2期目の町政運営の意気込みは

町長 重点施策に取り組み持続可能なまちづくりを進める

Q 町長選挙は、40年ぶりの無投票再選となった。改めて2期目の町政運営の意気込みは。

A 第3次重石町総合計画基本構想において、目指すべき将来像「みんながつくる 未来につながる ふるさとしずくしい」の実現に向け、持続可能なまちづくりを進める。
物価高騰対策は

Q 町は、町民や事業者の声を踏まえて、どのような物価高騰対策を講じる予定か。

男助山を観光資源とし、鶯宿温泉の活性化に役立てましょう。



質問者／畠山操 議員

軽トラ市の過去最高の来場者数の評価は

町長 コロナ対策を講じ、積極的広報活動に取り組んだものと捉えている

Q 今年度の軽トラ市は3年ぶりに、無事に7回開催され、それまでの記録であった令和元年度の3万1700人を大きく



令和4年度は過去最高の来場者数

農村活性化計画を樹立し町農業改良普及センター開設を望む。



質問者／大村昭東 議員

健康増進のため、食生活改善に取り組むべきでは

町長 大豆加工食品の開発に取り組む

Q 健康増進のために大豆加工食品等による食生活改善に取り組むべきでは。

A 町内産の大豆を使った加工の研究中であり、今後関係機関と連携し開発に取り組む。

Q 町はメタボ該当者率8年連続県内ワースト1位である。改善されていないがなぜか。

A 要因として低い健康管理の意識と生活習慣が招いた結果と考えられる。食事、飲酒習慣を含めた食生活等の生活改善と運動

A 家計への影響が大きい住民税非課税世帯等の低所得者に対し一世帯当たり5万円を支給し、子育て世帯への生活支援のため、一人当たり3万円を給付する。宿泊事業者応援事業、エンジョイパスポート事業等を実施する。また、中小企業物価高騰等緊急給付金として、一定の条件を満たす店舗、事業所等に一律5万円を支給する。

スクールバスの安全対策は

Q 全国では通園バスで、2件の車内へ置き去りにされて死亡する事件が発生したが、町のスクールバスの運行委託業者に車内確認の徹底をどのように行ったのか。

A 学校教育課所属の運転手や運行委託業者に対し、路線の終点または帰着時に、後部座席まで歩いて念入りに目視を行い、児童生徒全員が下車済みであることを確認するよう口頭で指導を行った。



後部座席まで安全確認を

上回る3万6600人の来場者で賑わった。過去最高の来場者数をどう評価しているか。

A 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く厳しい状況の中、実行委員会においては感染予防対策を徹底し、安心して来場できる対策を講じたことや、テレビ番組、ラジオなどのメディアを通じた積極的な広報活動に取り組んだ成果であったと捉えている。

小学校の自然教室の登山先を男助山にしては

Q 小学校の自然教室での登山先を男助山に変更し、女助山とともに栗石の祖先の伝説がある地元の山と年少期から触れ合っほしいと思うがどうか。

A 幼少期の里山登山は、ふるさと愛を育む上でも多くの子どもたちに体験してほしい行事だと感じている。過去には各小学校で、岩手山や生森山、男助山登山を実施してきた経緯もあることから、今後のアウトドア観光のひとつとして、子どもたちが地元の人に触れ合う機会を検討する。

不足解消など、意識改革が必要と考える。

Q 町民の健康長寿、生涯健康プロジェクトへの取り組み状況は。

A 町民が自分自身の健康に関心を持ち、年代に応じた健康づくりに取り組むことが、健康寿命の延伸につながると考えている。今後は、生涯健康プロジェクトを構成する関係課と連携しながら取り組みを進めていく。



健康長寿を目指すわが町はメタボ脱却が「カギ」

総務産業常任委員会

[大村昭東委員長]

先進地視察 増やせ・活かせ 『ふるさと納税』を研修

10月5日から7日にかけて鹿児島県南さつま市、南九州市、霧島市で先進地視察研修を行いました。南さつま市ではふるさと納税全般的な取り組みと、納税額が9年間で当初の1000倍の約45億円に達する仕組みや返礼品の開拓や開発の説明を受けました。南九州市では、移住・定住対策として空き家や雇用などに関する部署間の連携や移住者へのフォロー体制などの説明を受けました。ここでも、予算は100%ふるさと納税を活用していると説明を受けました。霧島市では5年に一度開催の全国和牛能力共進会を視察し、各県の和牛への取り組みや、生産者の思いを肌で感じることができました。



生産者の思いが伝わる和牛オリンピック

調査 1 一歩一歩前進、町の財産 町有地の活用状況の現況と 今後の計画を確認

12月9日に旧上長山小学校、菊の司酒造株式会社、町有地14ヘクタールの現地調査を行いました。旧上長山小学校では、現在の内外の校舎状況と現在募集している利用者応募状況などの説明を受けました。誘致企業の菊の司酒造(株)の新工場では、通年醸造を可能にした設備や町産酒米の利用の検討や酒造元として酒造歴史を踏まえたこだわりの酒造りと、町内雇用状況の説明も受けました。沼返町有地14ヘクタールでは、委託管理者のエネルギープロダクト(株)より地域交流センター内で今後の施設建設の計画について説明を受けその後、ミニトマトを栽培中のIT管理の農業用ハウス内で説明を受けました。



町有地の活用が進む農業用ハウス

広報広聴常任委員会

[古館謙護委員長]

視察対応 山形県尾花沢市議会 議会だより編集委員会来町

10月12日、山形県尾花沢市議会議会だより編集委員会7名、事務局1名が来町し、議会広報「議会だより」作成時における編集方針、スケジュール、企画、レイアウト、特集の組み方、校正などについて、活発な意見交換を行いました。

○令和4年10月11日、17日、20日

議会だより123号校正に係る編集会議及び「議会報告会」の開催について協議しました。

○令和4年10月27日

議会だより123号発行。

○令和4年12月2日

議会だより124号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました。

議会広報の基本と編集 町村議会広報担当者研修会

11月21日から22日にかけて、花巻市において19の町村が一堂に会し町村議会広報担当者研修会が開催されました。「住民に読まれ、伝わり、議会に見える化へ 議会広報の基本と編集」をテーマに、議会広報サポーター芳野政明氏の講演を聞き、議会広報の重要性を再認識しました。主な内容として、自治体広報の3つの目的、行政サービス広報、政策広報、地域広報の必要性の理解を深めてきました。今後も、読まれ、親しまれ、役に立つ住民目線の議会広報編集を心掛けていきます。

教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査1 町スポーツ協会と意見交換 令和3年度管理施設利用状況など

11月9日、(一財)栗石町スポーツ協会から令和3年度の管理施設利用状況及び事業報告、令和4年度10月末現在の事業実績、令和5年度事業計画(案)等の説明を受けました。その後意見交換を行い、管理施設には30年以上経過した施設もあり老朽化による修繕が今後の課題として挙げられました。



町スポーツ協会との意見交換

調査2 アーチェリー屋内射場 整備工事進捗状況を確認

11月9日、生涯学習スポーツ課より、旧南畑小に整備しているアーチェリー屋内射場整備工事の進捗状況を確認してきました。屋根・外壁ともおおむね終了し、内装工事などを進めていると説明を受けました。また、12月8日には鶯宿温泉スポーツエリア整備計画における今後のスケジュールなどを確認しました。



アーチェリー屋内射場の工事進捗状況を確認する委員たち

調査3 まちなか巡回バス実証運行 利用状況など

12月8日、地域づくり推進課より、まちなか巡回バス実証運行の利用実績などの説明を受けました。総利用人数は10月24人、11月46人と増加傾向とのことでした。今後は利用者の声を聞きながら、ふれあいサロンなどで乗り方を周知し、冬季間の移動手段として外出の支援をしていくことを確認しました。

調査4 学校施設環境改善交付金の返還 再発防止策

12月8日、学校教育課より、国の会計検査院から指摘を受け、返還することとなった学校施設環境改善交付金について、再発防止策の説明を受けました。町内小中学校の施設改修は、今後も整備が必要な事業が見込まれるため、再発防止に向け十分に注意していくことを確認しました。また、学校職員の逮捕事案顛末と再発防止について説明を受けました。個人の金銭のほか、公金も管理徹底していくことを確認しました。

新議員紹介



はたけやま みさお
富山 操 議員

令和4年10月18日の町議会議員補欠選挙で当選した議員です。

任期は本年7月30日までです。

<活動目標・趣味>

商業者の立場という今までとは少し違う視点から議会に新しい風を送り込みたいと思います。休日は基本、山に登っています。山岳救助隊員として、皆さんが安全に登山できるようにパトロールをしています。

3年ぶりに

町民懇談会(議会報告会)開催

議会活動を町民の皆さまに直接お知らせし、議会活動へのご意見、ご要望を広くお聴きすることを目的に11月26日、町中央公民館で開催しました。当日は約40人の参加があり、定例会・臨時会の概要、各常任委員会の状況を報告後、意見交換を行いました。

意見交換では、住宅地の確保、田沢湖線の新駅設置、雪まつりの見直し、ソ連のウクライナ侵攻の抗議、14ヘクタールの対応、政治倫理条例、旧上長山小の活用、町営住宅の建て替え、道路の整備、農業政策など数多くのご意見等いただきました。今後の町政へ活かすよう活動してまいります。



たかはし せいじ
高橋 清治さん (72歳・八丁野)

宝物が宝物を育てる

西山地区で牛飼いをしています。雫石の宝物といえば、広大な草地だと思います。雄大な山々の裾野に広がる草地、その草と清らかで豊富な水によって次の宝物「牛」が育てられます。この宝物を次世代に繋げていきたいものです。



にしむら よしのり
西村 義則さん (67歳・板橋)

消防団と団員仲間

郷土を守る消防団で楽しく活動して、はや34年になります。団員仲間には仕事、子育て、家庭菜園などプライベート面でもよき友、よき相談相手になってもらっています。また、消防団活動後の清めと称した一杯の交流の場などではさまざまな収穫も多いです。こんな消防団と仲間が私の財産です。

VOICE

No.19

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



しもかわら ゆきお
下川原 幸夫さん (58歳・高前田二)

雫石の大自然と温泉

雄大な岩手山。美しい川。空を舞う白鳥たち。この雫石をつくりあげている大自然全てが私の宝物だと思います。まだ山登りをしていた頃は、登山帰りによく温泉に寄って疲れを癒したり山々の思い出に浸って、自分はなんて幸せな町に住んでいるんだと誇らしく思います。どの温泉に行こうか迷えるって贅沢ですよ。



たかた きょうへい
高田 恭平さん (39歳・林崎)

自然が豊か! 蝉の羽化観察に感激

息子の小学校入学を機に地元である雫石町に戻ってきました。

雫石町はとても自然が豊かでそこが一番の魅力です。

戻ってきた年の夏、家の前の木に止まった蝉の幼虫の羽化する瞬間を息子と一緒に観察できたことは良い体験であり、良い思い出です。



在京雫石町友会会員 **葛根田 利夫**さん

長野で軽トラ市全国大会開催!元祖雫石町からの応援参加に感謝

昭和34年に集団就職で上京し銀座にあったファッション関係の絹の店で7年勤めた後、キリンビール、関西電力に40数年在職して、平成15年定年退職した後に、都内池上で居酒屋「みちのく」を経営、その後長野県で田舎暮らしを始めて20年になります。長野県と言いますと降雪地のイメージがありますが自分たちの住んでいる長野市は年に数回の雪は降りますが積もりません。四方どこを見ても山で近くに温泉、スキー場があり農産物はリンゴで気温まで雫石とほとんど同じです。キリンビール、関西電力では厚生課に配属され保養所の管理運営を任され調理の仕事を長年したのが今の生活に役立っております。月に数回市内の店舗で、毎週末は県内の道の駅でだし巻き卵の実演販売をしています。また月に一度は長野市篠ノ井駅前前で軽トラ市を運営しながら出店しています。

去る(令和4年)10月16日には第7回軽トラ市の全国大会を開催しました。軽トラ市の発祥の地であ

昭和15年葛根田生まれ。屋号は六の助。西根小学校—西山中学校—盛岡—高—キリンビール—関西電力—居酒屋「みちのく」—長野市に移住—居酒屋「みちのく」—だし巻き卵の実演販売

る雫石町にも応援参加していただき、役場観光商工課の佐藤さん、田村さん、商工会の多田さん、軽トラ市委員長の相澤さん等大勢(16名)の人達が参加して盛り上げて頂き感謝しております。また平成27年11月の雫石の軽トラ市に在京雫石町友会として参加し「だし巻き卵の実演販売」を行いとても好評でした。

今は80才過ぎの老夫婦二人の生活ですが、三年前までは、家族孫曾孫のいる横浜には墓参りを兼ね年に5、6回行き、雫石の実家には毎年必ず帰省しておりましたが、時節柄今はそれも叶わずにおります。一日も早くコロナウイルスの感染が落ち着くの祈る毎日です。



踊りで盛り上げる雫石の皆様

長野市の軽トラ市にて
(右が筆者)



在京雫石町友会会員 **すぎた しょうえい** 杉田 昭栄さん

雫石を想う

岩手山の雄姿と美しさは雫石の誇りと思います。子どものころは雲の中ではない限り岩手山を毎日眺めていたものと思いますが、郷里を離れてから顔に浮かぶ岩手山は雪化粧のことが多いです。厳しい冬季でも晴れた日の雪に覆われた岩手山の美しくも気高い姿を想い出すことが節目節目の気持ちを新たにしてくれます。

ただ、コロナ禍のこと、両親も他界していることもありしばらく帰省していない状況です。しかし、故郷は遠のくばかりと思いきや近づいてくる感もあります。実は、11月24～26日にかけて雫石の実家を守っている兄夫婦が、私の義父母の墓参りに栃木にやってきました。それこそ、4年ぶりの再会になります。ついでに、兄弟夫婦で茨城へ小旅行をしました。道中は雫石の身近な人の近況は勿論、懐かしの郷里の景色が脳裏に浮かぶような話にわきました。一方、

土浦の予科練平和祈念館を訪ね(写真)国家への忠義で戦禍に散った若い命の重さをかみしめ「何があっても戦争はいけない」と改めて平和を願いました。

古希を迎えた今、年々足が遠のく故郷に、こちらから出向く機会を作り、冒頭述べた冬の岩手山は無理でも季節の良い時に登って雫石を一望したいと考えています。



予科練平和祈念館 ゼロ戦の前で

昭和27年生まれ。上長山小学校—西山中学校—盛岡三高—宇都宮大学農学部—千葉大学大学院医学研究科—昭和57年千葉大学医学部—平成7年宇都宮大学教授—平成31年東都医療大学教授(現在に至る)、宇都宮大学名誉教授、医学博士・農学博士

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった！

かくた ただあき
角田 匡昭さん (38歳) | 林崎 | ※青森県中泊町出身

Q お二人の馴れ初めは？

A インターネットで知り合いました。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 友達がたくさんできて、嬉しいです。

Q 町に望むことは？

A 子育て世帯への支援が手厚いと同じ世代が引っ越ししてくれそうなので嬉しいです。



息子のみことさん(0歳)と妻・尚枝さん(39歳)と
匡昭さんの職場「しずく×CAN まちライブラリー」にて

なかよしシリーズ⑱

今月の
表紙

写真左から
次男 橙冴さん (10歳)
長男 碧真さん (14歳)
長女 茱白さん (8歳)



村上正寛さん、垂依さん (六区) のお子さん
なかよし3きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長男 碧真さん(14歳)：100歳まで生きる！
次男 橙冴さん(10歳)：料理人
長女 茱白さん(8歳)：パティシエ

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】 【議長交際費内訳 (10月～12月)】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費	お祝い、会費
10月	0件 0円	1件 21,000円
11月	0件 0円	2件 24,400円
12月	1件 22,000円	0件 0円
合計	1件 22,000円	3件 45,400円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■編集デスク

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻、原油高による物価高騰など不安や心配なことが多い一年でした。一方、議員として、勇気をもって3年ぶりに「よしゃれ祭り」、「歳末助け合いチャリティショー」に参加して、笑い声とともに、たくさんの温かい拍手、声援をいただき感謝いたします。また、町民懇談会(議会報告会)では、数多くのご意見、ご提言ありがとうございました。皆さまのご意見等をお聴きして広報広聴活動に努め、「議会だより」を読みやすく、わかりやすく、そして、充実するよう取り組んでいきたいと思っております。

(広報広聴常任委員長 古館 謙護)

発行責任者(議長)／加藤真純
編集委員長／古館謙護
副委員長／坂井尚樹

編集委員／横手寿明・幅 秀哉
岡本忠美・徳田幸男
金子一男